

市民会館管理運營業務〔予算額 170,006千円〕

社会文化部文化振興課
総務企画係(23-6976)

財源内訳 使用料及び手数料 2,147千円、諸収入 1,947千円、一般財源 165,912千円

市民の文化活動の拠点として、質の高い音楽や舞台の鑑賞機会と、文化活動や発表の場を提供するため、市民会館を管理運営しています。

110周年記念事業

通常の管理運營業務に加え、市制110周年記念事業として岡崎が舞台で徳川家康公が主役の岡崎オリジナル脚本による歌舞伎舞踊「紅葉錦絵葵正夢（はなのにしきえあおいのまさゆめ）」をオーディションで選ばれた市民の手で演じ、「家康公のふるさと岡崎」を全国に発信し、本市の文化芸術活動の活性化へつなげます。

期日：令和8年12月26日（土）

会場：市民会館あおいホール

現在稽古真っ最中



▲昨年7月から本番に向けて稽古を開始。舞踊指導は脚本も担当された藤間勘十郎さん等 ▲舞台音楽(長唄・鳴物)には岡崎文化協会会員らが参加

シビックセンター施設整備業務〔予算額 1,089,858千円〕

社会文化部文化振興課
文化施設係(23-6977)

財源内訳 繰入金 299,000千円、市債 709,000千円、一般財源 81,858千円

ホール吊天井の脱落防止対策を行い、利用者の安全確保を図るとともに、老朽化した施設・設備等の更新、バリアフリー化などを中心とした大規模な改修工事を行うことにより、利用者の利便性向上を図ります。

継続

R6～R8 継続事業

■ 主な改修内容

- ・音響を保ったホール吊天井の脱落防止対策
- ・老朽化した施設、設備等を更新
(空調設備、電気設備、給排水設備、消防設備、
舞台設備(照明、音響)、ホール客席の更新、
内装[壁、床、天井]の一部改修など)
- ・内装[壁]の一部に岡崎市産材を使用
- ・雨漏り箇所の部分改修
- ・エレベーターの防災対策改修
- ・全トイレの洋式化、多目的トイレのレイアウト変更
- ・照明のLED化



改修完了 令和8年9月ホール
リニューアルオープン予定



4F コンサートホール コロネット



1F 図書室



2F 集会室



3F 講習室

スポーツツーリズム推進業務〔予算額 68,152千円〕

社会文化部スポーツ振興課
スポーツ事業推進係(23-6597)

財源内訳 県支出金 8,700千円、繰入金 200千円、諸収入 6,617千円、一般財源 52,635千円

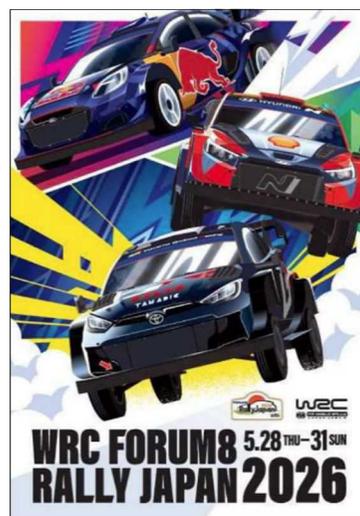
事業目的

アジア・アジアパラ競技大会の開催に向けた気運醸成と、円滑な管理運営のための支援、大会を契機としたアジア各国との交流促進、来場者のおもてなしの充実を図ります。

世界ラリー選手権、SVリーグ「ジェイテクト STINGS 愛知」などの大規模スポーツ大会の誘致による「スポーツツーリズム」を推進し、地域事業者との連携による市内宿泊や消費促進など、地域経済活性化と、スポーツのまちづくりの推進を図ります。

事業概要（スケジュール）

【世界ラリー選手権（WRC Rally Japan 2026）】 5月



【アジア・アジアパラ競技大会】 9～10月



聖火リレー・採火式



アジアフレンドシップ事業

【プロスポーツ・大規模スポーツ大会】 通年



アーチェリーの国際交流



シティドレッシング



シティドレッシング



観光 PR・飲食出店



アーチェリーの国際交流



110周年記念事業

110周年記念事業		企画展開催業務〔予算額 150,593千円〕		*美術博物館及び地域文化広場 企画展開催業務合算		社会文化部美術博物館 学芸係(23-5002)	
財源内訳	財産収入 1,025千円、諸収入 61,543千円、一般財源 88,025千円						

美術博物館

休館

令和8年4月1日～
令和8年7月3日

開館30周年記念事業

7/4～9/13

窓—そこに介在するもの

開館 30 周年記念コレクション展です。「窓」の持つ内側と外側をつなぐ接点であり隔たりでもある世界を通して提供する姿を<展覧会>として捉えました。30年の軌跡を辿りながら、初公開のものも含めてお楽しみいただけます。

10/17～11/29

四季にうたえば
出光美術館名品展

四季をテーマに出光美術館の名品を紹介します。江戸時代の美術工芸品を中心に、名所の風景、花や生き物、人々の営みなど、様々に描かれた四季の表現により、移り行く季節をお楽しみください

12/19～3/14

国島征二展

日本とアメリカを中心に活躍し、1996年から岡崎に移住して制作を続けた故国島征二氏の作品、絵画、立体など約300点を紹介します。芸術家としての70年のあゆみをご覧ください。

おかざき世界子ども美術博物館

4/18～6/21

樋口一成
木のおもちゃ展(仮称)

自然の力である重力によって引き起こされる“動き”と“音”を楽しんで頂くことをテーマとした木のおもちゃの展覧会です。出展作品は全て触れて遊んでいただけます。

6/27～9/13

ピラミッドサイエンス展
(仮称)

古代の謎に包まれた魅惑のピラミッド。トライしながら考えるハンズオン型の科学展示で、遊びながら体感と考察ができます。新感覚の子どものための、科学系エジプト展です。

9/19～12/6

はしもとみお展(仮称)

まるで生きている動物が目の前にいるような彫刻を創り出し、幅広い層から支持を集める彫刻家、はしもとみおの展覧会。生き物たちの生命の温かさ、やさしさや強さなど、彫刻の世界観に没入できます。

12/12～3/14

わくわく鉄道博物館
2026(仮称)

子ども美術博物館の大人気企画展。日本の各地の電車を紹介するほか、来館者も参加できる、ジオラマでの車両走行やプラレール広場を開設。子どもから大人まで楽しめる展示です。

その他の展覧会

- ・3/20～3/31 児童画公募展 第38回リトルアーティスト展
 - ・常設展「子どもたちのアール・ブリュット2026」
- ※都合により展覧会の内容及び会期を変更する場合があります。

タブレット型情報端末運用管理業務〔予算額 1,087,593千円〕

財源内訳 県支出金 566,646千円、財産収入 76,490千円、市債 191,000千円、一般財源 253,457千円

継続

【事業概要】 ~4学年(市立小学校3~6年生)と教職員分のタブレット端末を更新~

GIGA スクール構想の中核となる1人1台タブレット型端末について、運用開始から5年以上が経過し、バッテリーの消耗等の不具合も増えてきたため、段階的に現行機の更新を進めます。1人1台端末を、継続的に安定して利用できるように環境を整えることで、個別最適な学びや対話的な学びの充実にに向けた授業改革を推進し、Society5.0時代を豊かに生きる情報活用能力をはじめとした子供たちの資質や能力を育みます。

【既存タブレットの故障発生率と故障台数】 (総台数 36,184台)

		故障発生率	故障台数(累計)
R2	運用1年目	0.28%	101台
R3	2年目	1.08%	389台
R4	3年目	2.08%	751台
R5	4年目	3.26%	1,178台
R6	5年目	4.81%	1,742台
R7 (12月末)	6年目	5.64%	2,040台

※故障…物理的損傷、ソフトウェアの不具合、経年劣化など、端末が本来の機能を果たせなくなる状態全般。

既存タブレットの課題と更新に向けた考え方

タブレットの耐用年数が5年とされる中で、令和7年12月末現在の故障発生率は5.64%であった。もっとも多い故障が画面破損であり、GIGA 第2期での更新において、ケースや画面保護フィルムの選定が重要になる。

- GIGA 第2期の更新内容として、ケースをより堅牢なものを令和7年度の2学年分より採用した。
- 令和7年度は2学年分を更新し、令和8年度は4学年と教職員分を更新する。

GIGA 第2期の一人一台端末更新に係る国・県の方針

- ・GIGA 第2期(令和6年度~令和10年度)において、児童生徒用端末の予備機を含む更新を計画的に実施する。
- ・各都道府県は基金と共同調達会議を設置し、5年間同等の条件で継続する。

県による共同調達の内容(R8)

- 【調達費用】 1台あたり55,000円以内
- 【補助額】 1台あたり55,000円(上限)の2/3
- 【調達範囲】 本体(iPad)、キーボード(ケース含む)、画面保護フィルム、MDM、運搬費、保護フィルムのセッティング費用等

情報教育推進業務〔予算額 40,236千円〕

教育委員会事務局教育政策課
GIGAスクール戦略係(23-7959)

財源内訳 国庫支出金 3,525千円、一般財源 36,711千円

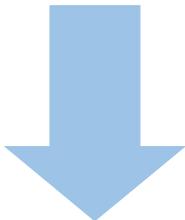
【事業概要】～市内中学校 理科室に電子黒板を整備～

拡充

1人1台タブレット環境を拡充し、教育 DX による授業改善や学び方改革を推進するために、電子黒板を全小中学校の普通教室に加え、**令和8年度は、全中学校の理科室に整備します。**

電子黒板は、1人1台タブレット端末等の ICT 機器の中核に位置付くもので、子供の学びを他とつなぐ「学びのインターフェイス」としての役割を果たし、岡崎のすべての子供たちの学びを保障します。

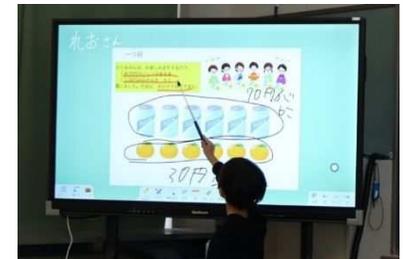
令和7年度 普通教室への整備が完了



文部科学省「学校の ICT 環境整備3か年計画」において各学校の**特別教室に対し6台を整備**することが標準水準として示される。

特別教室で広がる学びの可能性！ 実験・観察をもっと豊かに

- ・ 実験や観察の手順を動画や画像で提示し、生徒が確認
- ・ 生徒が一人一台端末でまとめた実験結果を電子黒板に提示し、比較・発表



<p>学校給食センター施設整備業務〔予算額 132,990千円〕</p> <p>学校給食センター管理運営業務〔予算額 235,430千円〕</p>	<p>教育委員会事務局教育政策課 給食施策係(23-6863)</p>
<p>財源内訳 使用料及び手数料 3,538千円、諸収入 140千円、市債 79,000千円、一般財源 285,742千円</p>	

新規

南部学校給食センター建替え整備の一時休止により、当面の間、現施設を使用することになるため、現施設が抱える課題について応急的な対応を行い、安全安心な給食調理、提供を図ります。

空調設備設置(予算額 132,990 千円)

調理棟へ空調設備を設置することで、調理員の労働環境を改善するとともに、熱中症リスクの低減を図ります。

【スケジュール】

令和8年4月～12月 工事
令和9年1月 稼働

アレルギー除去食の提供(予算額 7,442 千円)

南部学校給食センターでは調理ができないアレルギー除去食を、東部学校給食センターで調理し、配送するための準備を進めます。

【スケジュール】

令和8年度 献立システム改修、消毒保管庫購入
令和9年度 シミュレーション、運用開始(2 学期)

拡充

学校給食費無償化

令和8年4月から**小学校の学校給食費を完全無償化**します(保護者負担額に対し、国県の補助基準額が不足する額を市費負担)。

また、中学校は、4月分、12月分の無償化を継続し、保護者負担の軽減を図ります。



小学校校舎改修業務〔予算額 237,986千円〕

〔令和7年度3月補正に前倒した予算額 70,379千円〕

(合計予算額 308,365千円)

教育委員会事務局施設課
整備係(23-6422)

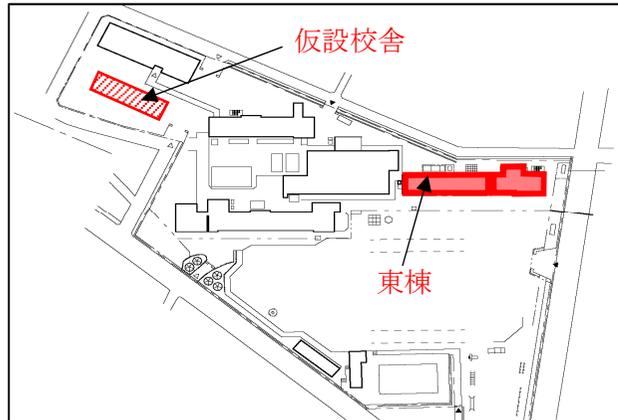
財源内訳 一般財源 237,986千円

老朽化している校舎の大規模改修工事を実施し、安全で快適な教育環境を確保します。

工 事

●矢作北小学校

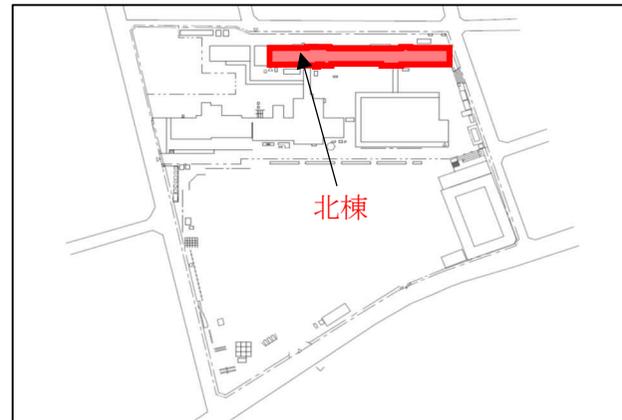
- ・令和7年度：実施設計
- ・令和8～9年度：東棟大規模改修工事



実 施 設 計

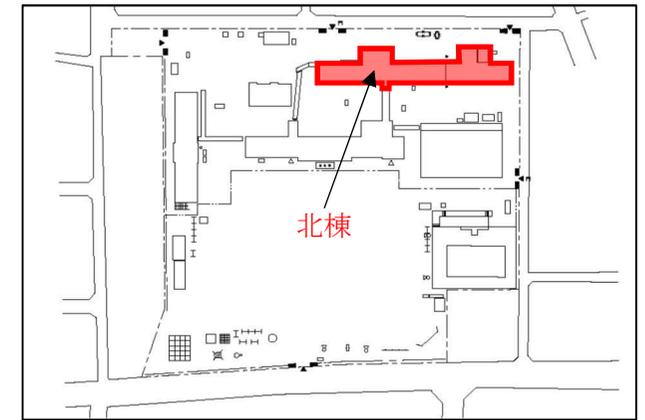
●六ツ美南部小学校

- ・令和8年度：実施設計
- ・令和9～10年度：北棟大規模改修工事予定



●羽根小学校

- ・令和8年度：実施設計
- ・令和9～10年度：北棟大規模改修工事予定



【工事内容】外部改修（屋根、外壁）、内部改修（天井、床、壁、建具、家具、トイレ）、
設備の更新（受変電設備、照明、受水槽、消防設備）、
その他（内装木質化、段差解消）

<p>小学校屋内運動場改修業務〔予算額 45千円〕 中学校屋内運動場改修業務〔予算額 857千円〕 〔令和7年度3月補正に前倒した予算額 1,896,290千円〕 (合計予算額 1,897,192千円)</p>	<p>教育委員会事務局施設課 整備係(23-6422)</p>
<p>財源内訳 一般財源 902千円</p>	

夏の熱中症対策として、小学校屋内運動場及び中学校屋内運動場と柔剣道場へ空調設備を整備し、教育環境の改善を図ります。

空調設備整備の内容

- ・ 事業手法は、設計・施工一括発注とします。
- ・ 災害時に電気やガスの供給が停止した場合でも使用できるような機種を選定し、燃料保管庫を設置します。
- ・ 断熱対策として、屋根への遮熱塗装と窓ガラスへの遮熱・断熱フィルム貼りをを行います。

スケジュール

- 新規** 【小学校】

 - ・ 令和8年度に落札者決定基準を作成し、令和9年度より事業着手予定
- 継続** 【中学校】

 - ・ 令和8年6月末までに空調設備の設置完了
 - ・ 令和9年2月末までに断熱工事を含めた事業完了

**令和8年度
 中学校完了予定**

中学校校舎改修業務〔予算額 239,549千円〕

〔令和7年度3月補正に前倒した予算額 1,582,234千円〕

矢作・岩津・美川中学校校舎整備業務

〔令和7年度3月補正に前倒した予算額 141,342千円〕

(合計予算額 1,963,125千円)

教育委員会事務局施設課
整備係(23-6422)

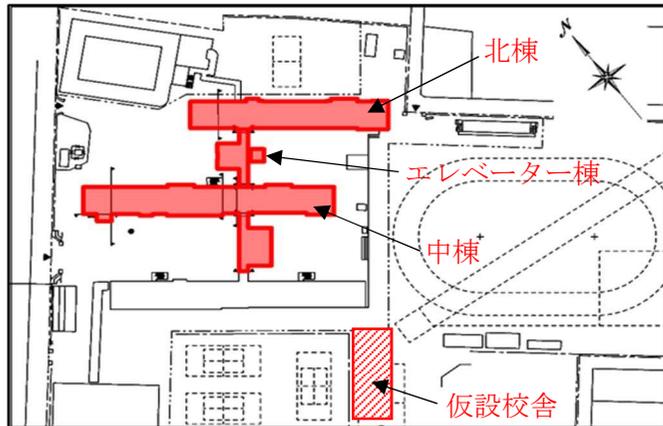
財源内訳 繰入金 2,000千円、一般財源 237,549千円

老朽化している校舎の大規模改修工事を実施し、安全で快適な教育環境を確保します。

工 事

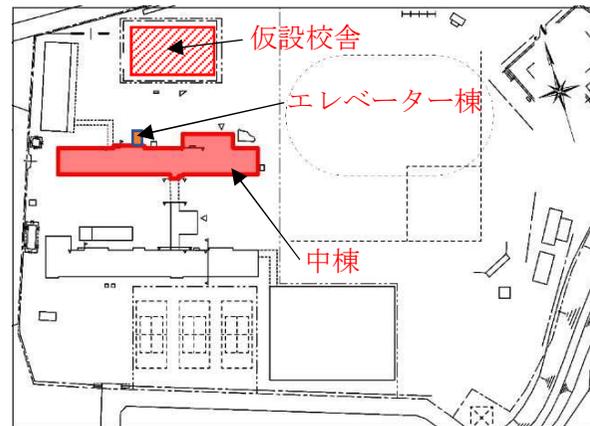
●矢作中学校

- ・令和5年度：実施設計
- ・令和6～7年度：北棟大規模改修工事
- ・令和7～8年度：中棟大規模改修工事
エレベーター棟増築工事



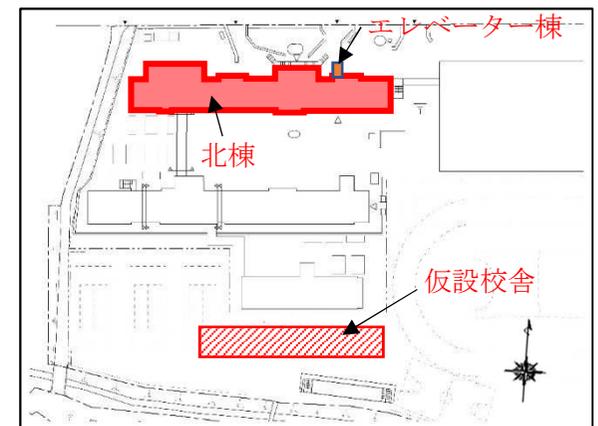
●岩津中学校

- ・令和6年度：実施設計
- ・令和7～8年度：中棟大規模改修工事
エレベーター棟増築工事



●美川中学校

- ・令和6年度：実施設計
- ・令和8～9年度：北棟大規模改修工事
エレベーター棟増築工事



【工事内容】外部改修（屋根、外壁）、内部改修（天井、床、壁、建具、家具、トイレ）、設備の更新（受変電設備、照明、受水槽、消防設備）、
その他（内装木質化、段差解消）

中学校附帯施設改修業務〔予算額 65,134千円〕

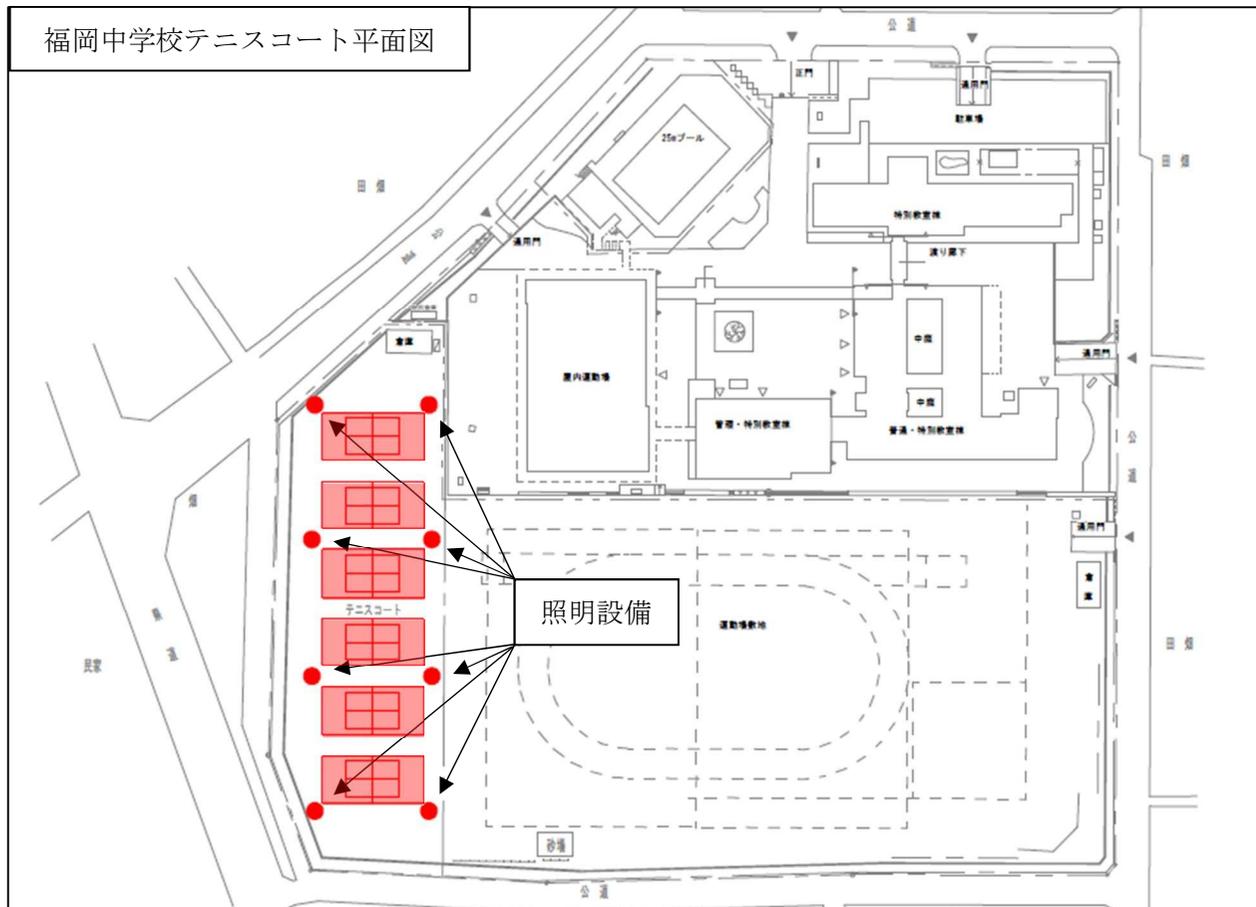
教育委員会事務局施設課
整備係 (23-6422)

財源内訳 市債 23,000千円、一般財源 42,134千円

新規

地域ブロック部活動へ移行後のソフトテニス部の活動環境を確保するため、福岡中学校のテニスコートに夜間照明設備を整備します。

テニスコート夜間照明設備設置工事 39,225千円



職員給与費等〔予算額 7,456千円〕

体育行事活動等推進業務〔予算額 120,907千円〕

教育委員会事務局学校指導課
部活動地域移行係
(23-6157)

財源内訳 県支出金 37,268千円、一般財源 91,095千円

小中学校児童生徒のスポーツ精神育成・技能向上のため、部活動振興を図り、技能的指導及び各種スポーツ大会を充実させます。特に、部活動地域移行の円滑な推進を図ります。

拡充

部活動指導員の増員

継続

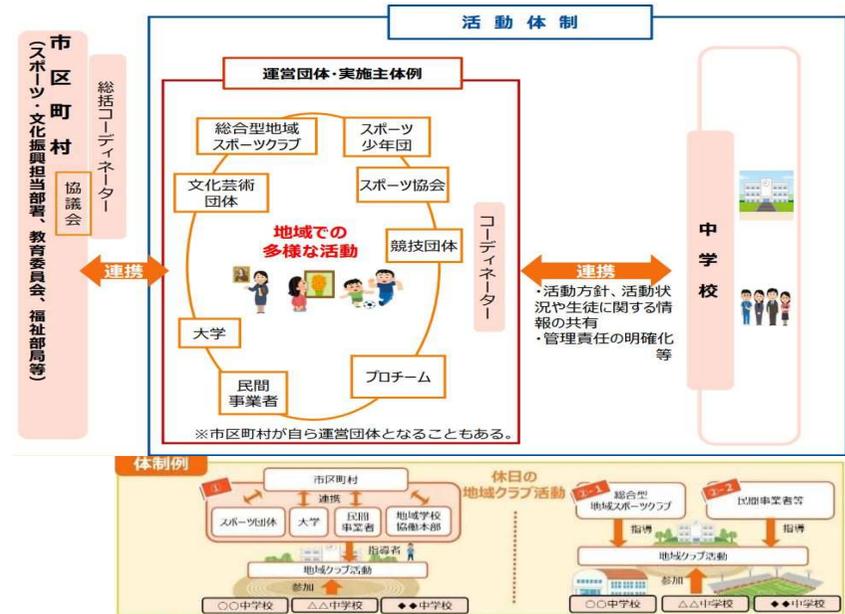
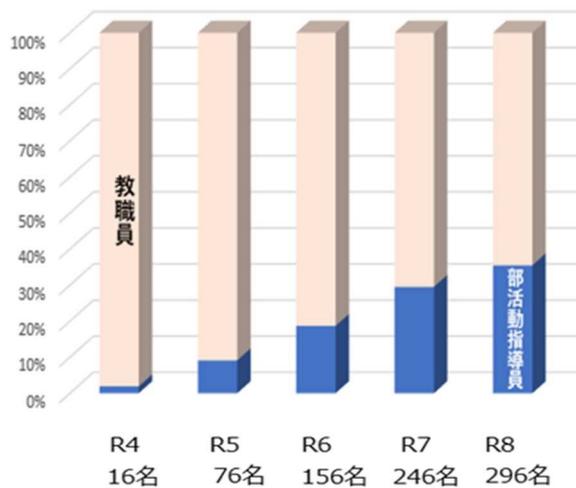
地域移行活動体制整備委託料

《部活動に関わる指導者》

顧問（教職員）	650人
部活動指導員	184人
合計	834人

全中学生の約80%（8,800名）が休日の部活動に参加しています。それに対して834名の教職員及び指導者が岡崎市の部活動を支えています。

《部活動指導員の増員計画》



部活動指導員 50名増員 ⇒ 246名から296名に拡充

- ・部活動指導員の働き方は多岐にわたるため、常時部活動指導員を配置することで教員による部活動指導の負担の軽減を図ります。
- ・多くの生徒に専門的な指導を行うことが可能となります。
- ・顧問とともに、練習試合や大会の引率・指導が可能となります。

持続可能な運営に向けた体制整備や質の確保 ⇒ 1,935千円

- ・市内全ての運動部、文化部の地域移行の実現への方策について検討や支援を行います。
- ・市内大会の外部審判員や会場使用料等、地域移行における活動の体制を整備します。

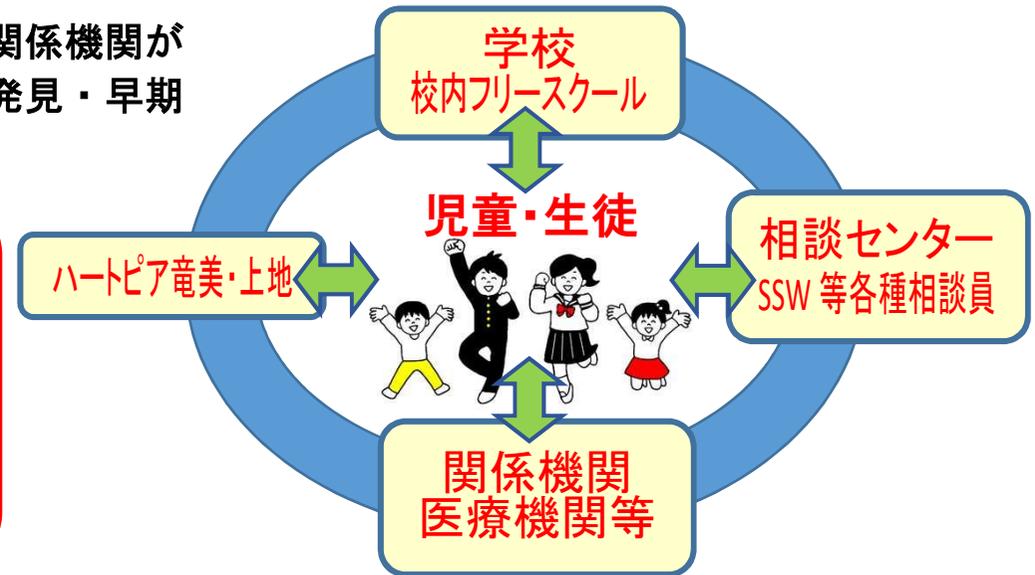
児童生徒健全育成推進業務〔予算額 181,555千円〕

教育委員会事務局
教育相談センター
(23-6772)

財源内訳 国庫支出金 12,850千円、諸収入 609千円、一般財源 168,096千円

児童生徒の健全育成のため、学校・家庭・地域・各関係機関が連携し、いじめ・長期欠席等に対する未然防止・早期発見・早期対応の実現を図ります。

- 社会的な自立を将来の目標に、市内公立小中学校の校内フリースクールや夜間学級、岡崎市フリースクール「ハートピア竜美・上地」において長期欠席児童生徒へ支援・指導を行います。
- スクールソーシャルワーカー、臨床心理士、登校支援員等による各種相談・支援体制の充実を図ります。



拡充 校内フリースクール「F組」

- 校内フリースクールを小学校6校へ拡充
- ⇒児童生徒の多様性への対応による長期欠席の未然防止
- ⇒教室復帰だけでなく社会的な自立を目指した支援の充実
- ⇒校内フリースクールを活用する児童生徒の自己有用感や自己肯定感の向上
- ⇒個の学習状況に応じた指導や配慮の充実

継続 夜間学級「S組」

- 夜間学級を中学校 10校に継続
- ⇒他の児童生徒がいる時間帯には登校できない生徒、家から出ることが難しい生徒の長期欠席の自立支援
- ⇒夜間学級を活用する生徒の自己有用感や自己肯定感の向上
- ⇒校内フリースクール開設時間を拡大し、個の学習状況に応じた指導や配慮の充実(週1回2時間程度)

拡充 スクールソーシャルワーカー

- スクールソーシャルワーカー11人へ拡充(ロングパート1人増の6人、ショートパート5人)
- ⇒複雑な家庭環境に起因した長期欠席の未然防止
- ⇒児童虐待、ヤングケアラー等の課題への対応の充実
- ⇒アセスメントやケース会議等、学校への具体的支援の強化・充実
- ⇒中学校区に拠点を置く拠点校配置のSSWを継続配置

岡崎城跡整備業務〔予算額 69,121千円〕

教育委員会事務局
社会教育課岡崎城跡係
(23-7270)

財源内訳 国庫支出金 19,489千円、一般財源 49,632千円

【事業概要】

岡崎市の象徴であり、市を代表する史跡である岡崎城跡について、「岡崎城跡整備基本計画」に基づき、歴史文化資産としての価値を高めるため、事業を進めていきます。

【主な事業】

- ◇岡崎城跡整備委員会の開催
- ◇岡崎城跡坂谷曲輪発掘調査
- ◇石垣の測量（天守西側他）・変位計測
- ◇石垣点検業務
- ◇石垣を毀損する樹木の伐採
- ◇石垣保護ネットの設置（風呂谷曲輪）



【石垣保護ネットの設置】

石垣が崩落した際、来園者を石垣の崩落から守るネットの設置を行います。（写真は令和6年度に本丸埋門に設置したもの）



【岡崎城跡坂谷曲輪発掘調査】

坂谷曲輪については、過去の発掘調査において、坂谷門の礎石など貴重な遺構が発見されており、今後、整備をする上で必要となる追加の発掘調査を実施します。